

高専 通信

NATIONAL INSTITUTE OF
TECHNOLOGY(KOSEN),
TOMAKOMAI COLLEGE

学校長挨拶

オリエンテーション

高専体育大会

オープンキャンパス

高専協力会だより

vol.
152

2019年10月発行

苫小牧工業高等専門学校

〒059-1275 苫小牧市字錦岡443

苫小牧工業高等専門学校 総務課総務係

[URL] <https://www.tomakomai-ct.ac.jp>

[MAIL] pub_info@tomakomai-ct.ac.jp

学 校 長 挨 拶

令和元年10月1日付で着任しました。私は北海道大学工学部機械工学科を昭和56年に卒業し、これまで同大学で教員として教育・研究に携わってきました。

高専での勤務は初めてですが、これまでに多くの高専出身者を卒業生あるいは修士課程学生として受け入れた経験があります。

この度、縁あって苫小牧高専で勤務することとなり、若い学生の皆さん、そして素晴らしい高専教育を実践されている教職員の皆様と協働できることを大変うれしく思っています。

私自身、修理工場を営む家庭で育った経歴から、モノづくりには強い関心を持ち続けており、今日までの教育・研究のベースとなっています。今後は皆様と共に、工業立国である我が国を牽引する技術者あるいは研究者の育成に全力を尽くしたいと考えています。

私は道北出身で、苫小牧での生活も初めてですので、地域の特色など教えていただければ幸いです。

皆様方のご理解とご協力をお願いして、就任のご挨拶とさせていただきます。

苫小牧工業高等専門学校 第十一代校長 小林幸徳



小林幸徳新校長プロフィール

北海道天塩町出身62歳。

道立天塩高等学校卒業、北海道大学工学部機械工学科卒業。

北海道大学大学院博士後期課程修了（工学博士）。

昭和61年北海道大学講師、昭和64年北海道大学助教授、

平成16年北海道大学教授。

米国オハイオ州立大学（1992年）および

英国シェフィールド大学（2005年）で在外研究。

小林新校長に5つの質問

1. 北海道大学ではどのような研究をされていましたか？

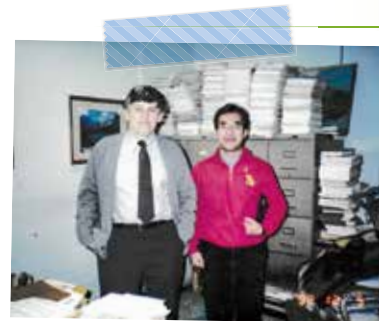
—— 学生時代は、構造要素（板やシェルなど）の振動解析をしました。その後、振動制御に取り組むようになり、その応用としてゴルフクラブを振ってボールを打てるロボットを博士課程の学生と一緒に開発しました。さらに移動ロボットの研究にも取り組みロボット自身が環境の地図を構築する研究を行いました。これらのロボット技術を農業の分野に応用する研究や雪道の自動運転などにも取り組みました。振動工学の研究として、鉄道車体の振動特性解析にも長く取り組んでいます。



ゴルフロボット

2. どんな学生生活をおくっていましたか？

—— 私は北大基礎スキー部に所属していましたので、学部学生の頃は、夏は陸上トレーニングや山歩きをし、雪が降りだすとほとんどの週末はスキーに明け暮れていました。大学院に進学してからは、学生仲間とサッカーをしたり朝野球をしたりと様々なスポーツをしながら、前記の研究に取り組んでいました。研究者を目指す気持ちが徐々に強くなり、指導教員の先生の勧めもあって博士課程へ進学し、昭和61年に博士課程を修了しました。



オハイオ州立大学Leissa教授（当時）と

3. 小林先生のご趣味は？休日はどのように過ごされていますか？

—— 若いころは、夏はバイクでツーリングしたり、車でドライブしたりしていました。冬はもっぱらスキーでした。最近は、近距離のサイクリング、温泉旅行、庭のバラの手入れをすることが多いですね。苫小牧では、学生時代に弾いていたクラシックギターを再開したいと思っています。



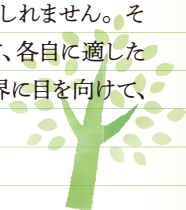
豊平川沿いをサイクリング

4. 苫小牧高専の印象は？

—— 苫小牧高専出身者を修士課程で受け入れた経験からは、まじめで根気よく熱心に取り組む学生が多いと感じています。まだ、全体の様子は分かりませんが、5学年と専攻科合わせて1,000人を超える学生がいると知り、大変大きな学校と驚いています。また、協力会やC-baseなど、地域社会との連携も活発な学校での勤務を楽しみにしています。

5. 学生に期待することは？

—— 学生にとっては、カリキュラムと自分自身の将来の関係がなかなか分からないことがあるかもしれません。そんな時は、先生はもとより先輩たちのアドバイスを積極的に受けることが大事です。それによって、各自に適したキャリアプランが見えてくると思います。日ごろから、専門分野の学習だけでなく、社会そして世界に目を向けて、グローバル社会で活躍できる人材となれるよう、高専の教育システムをフル活用してください。





オリエンテーションを通して

4 月18、19日に洞爺サンパレスで、第1学年オリエンテーションが行われました。初めは不安でいっぱいでしたが、様々なプログラムを終えていくうちにその不安も小さくなっていきました。プログラムの中で最も私の心に残ったものがあります。それはコミュニケーションゲームです。国立日高青少年自然の家の中に中西さんに企画していただいたゲームに1学年全体で参加しました。クラス全員で輪を作り一斉に立ち上がるゲームなどを通してクラス内での団結力をより深め合えたと思います。

最後に、このオリエンテーションを通してコミュニケーションの取り方や協調性の大切さ、人間性など多くのものを学びました。

今回学んだ多くのことを活かし、これからの高専生活が有意義になるよう心掛けたいと思います。



1年2組
高橋 爽

オリエンテーションを終えて

苦 小牧高専に入学して不安や緊張に包まれて二週間にして臨んだオリエンテーション。

教室では、外の換気扇が教室に響き渡るほどの静けさでしたが、1日目に行われた友達との仲を深める企画によりクラスの活気が生まれ、4組の親睦がとても深まりました。

そして、高専生活を左右する系選択の講演を先輩方にして頂き、全5系の特色について学ぶ良いチャンスを得ることができました。

進級して各系に進むとき、4組でよかったと思えるように、B.T.S(爆発するほど、楽しい、瞬間)を刻んでいきたいです。



1年4組
次木 祐仁



第1学年オリエンテーションに参加して

私 たち1年1組は2日間のオリエンテーションを通し、高専生として成長していく過程で必要となる術を学びました。また、入学から続いていたクラスのぎこちなさも和らげることができました。



1年1組
丸山 翔平

1日目は、コミュニケーションゲームでクラスメイトと協力して楽しんだり、自由時間でたくさん会話をして、クラスのまとまりを築くことができました。

2日目のガイダンスでは、3、4年生の先輩方からの実際の高専生活での経験をもとにしたアドバイスによって、予習・復習や勉強の習慣を身に付ける大切さを学びました。

これからの高専生活が平坦なものになるとは思いませんが、今回のオリエンテーションを踏まえ、より一層、日々の努力を怠らず、充実した5年間にできるよう頑張っていきます。

1年3組委員長の心の中

オ リエンテーションでは、先輩から警察の方まで様々な方々にお話を聞かせていただきました。その中で1番に残っているのが「コミュニケーションゲーム」というものでした。このゲームをやる前は、正直、時間が1時間半もあってやりたくないと思っていました。きっとみんなもそう思っていたはずですが、しかし、始まった途端、とてつもなく元気に司会のおにいさんが話しますわけです。開会式後にこうだったため、場の空気の変え方、さすがだ、と拍手したくなりました。その後はクラスが団結できるようなゲームが行われ、その結果、楽しい1時間半を送ることができました。



1年3組
村山 広晃

1年3組は個性豊かで、自由時間には恋やらスポーツやら色々なことをしている人がいました(笑)。個性豊かなので楽しいクラスではありますが、その分まとめるのが大変だと思うので、委員長として精いっぱい頑張りたいです。

オリエンテーションを終えて

4 月19、20日に洞爺のサンパレスで1学年オリエンテーションが行われました。オリエンテーションのプログラムの中で印象深く残っているのは先輩方のキャリア講演会とコミュニケーションゲームです。



1年5組
中田 涼平

キャリア講演会では先輩方のアドバイスや経験談などとても興味深いお話をして下さいました。

コミュニケーションゲームでは学級はもちろん学年全体が一体となっていました。クラスの仲間みんなと協力して一斉に立ち上がるゲームの時僕は率先して声出しをしました。その時に改めて団結力の素晴らしさに気づきました。

今回学んだことや感じたことを忘れずに仲間と切磋琢磨して充実した高専を送っていききたいです。



都市・環境系オリエンテーション

創 造工学科都市・環境系第2学年のオリエンテーションでは、先生方や先輩方から今後私達が何を学び将来の仕事に活かされていくのかを教わりました。特に先輩方からのお話では、勉強や資格、これからの生活でやっておくべきことなど、これからの高専生活を過ごしていく上で大切なことを聞くことができ、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。



2年2組
芳賀 裕之

この系では、橋やダムなどの大きなものを作る仕事に係る勉強をしていきます。1人では大きなものは造れません。そのためにまずはこのクラスで4年間、互いに助け合い、自分達で未来への架け橋を造っていききたいと思います。

ゼロから始まる機械系

私 たち、機械系2年生は4月16日にオリエンテーションに参加しました。高専生活2年目になる今年は、機械に関する専門科目が開設され本格的に「高専」の勉強がスタートします。このオリエンテーションでは、これからの4年間で世話になる先生の紹介や、先輩方による機械系の特徴の紹介があり、あと4年の高専生活が楽しみになりました。



2年1組
武藤 遼来

また2年目の高専生活、まだまだ私たちの知らないことがたくさんあります。それを1つ1つ学び、技術者に必要なことを身につけていきたいです。

最後に、これからの4年間で過ごしていくクラスメイトが誰も留年せずに卒業できるよう切磋琢磨し、最後に笑えるような4年間にしていきたいです。

電気電子系オリエンテーションに参加して

私 たち2年4組は、4月16日、電気電子系オリエンテーションに参加し、これから学ぶ専門科目の内容や、進路に関すること、また各実験室の見学や先輩から系や学校生活についてのお話を聞かせていただきました。



2年4組
岡本 昂大

特に研究室見学では、プラズマに触れ、自動で追いかけて来るロボットなどの研究を拝見し、これから学んでいく内容についてたくさん体験することができました。

先輩との交流会では、これから学校生活を送る上で大切なことや心構えなどを教えていただき、今後の勉強や学校生活について深く聞くことができ、とてもいい勉強になりました。

電気電子系の学生として学んでいく上でしっかりできるか不安なところもありますが、たくさんの知識や経験を積んで素晴らしい技術者になれるよう努力していきたいです。

2年生オリエンテーションを終えて

2 年生が始まって間もなく応用化学・生物系のオリエンテーションがありました。初めに私たちはこの系で何を学んでいくのかを教わりました。今後の見通しを立てることができたため良かったです。次に私たちは応用化学に関わる先生方に自己紹介をしていただき、教員室や実験室を案内してもらいました。今まで見たことのない器具や装置を拝見でき良い経験になりました。すべての見学が終わった後、私たちは教室に戻りクラスの親睦を深める活動をしました。このオリエンテーションを通して今後の学生生活を有意義に過ごす手がかりを得られました。また、クラスメイトとの交流を図ることができました。



2年3組
飯島 心

情報科学・工学系オリエンテーションに参加して

創 造工学科情報科学・工学系2年5組である私たちは、4月16日にオリエンテーションを行いました。2年生になって、授業も難しくなり専門教科も増える私たちにとって良い経験になったと思います。



2年5組
池ノ谷 樹蘭

オリエンテーションでは、教職員の紹介、情報科学・工学系の説明、進学状況、先輩学生からの話などがありました。

特に専攻科2年の先輩の話からは、レポートや勉強の大変さを知ることが出来ました。

オリエンテーションの最後にクラス全員で自己紹介をしました。これから4年間同じクラスメイトと過ごすので、仲良く楽しめるクラスにしたいと思いました。

情報科学・工学系の学生として多くの知識を学び、全員で卒業できるように頑張りたいです。



2019年度授業参観実施報告

教務主事補 大橋智志

授業参観

2019年度の授業参観日は、5月14日（火）9:00～15:35の時間帯に実施いたしました。

当日は計225名（平成30年度349名、平成29年度275名）の保護者のみなさまに本校いただきました。今年度は10連休となったゴールデンウィークが終了した翌週に実施いたしましたが、昨年のように学生寮に寄宿する学生が保護者のみなさまと帰省しやすい日程ではなかったため、参加者が減少した一因と考えております。当日は火曜授業日だったので、3年生では創造工学Ⅱや数学ⅢAの合同講義、4～5年生では選択科目の講義といった、中学校や高校では馴染みのない講義や演習も見学できたかと思います。

また今回は、年度当初における保護者のみなさまとクラス担任とのコミュニケーションをはかるため、クラス懇談を実施いたしました。クラス懇談では、「2年進級時における専門系配属」、「進路選択および進路状況」、「3年工場見学旅行・4年総合研修旅行」等に関するご質問やご相談があったようです。

本校は平成28年度より創造工学科に改組し、今年で4年目となりました。1年生は全員が同じ科目を受講し、2年生は自ら熟考し選択した専門系（機械系、都市・環境系、応用化学・生物系、電気電子系、情報科学・工学系）に所属し、5年生まで専門内容を講義や実験・実習、卒業研究を通じて学びます。現在、創造工学科1期生である4年生は自ら選択したコースに配属され、全系共通の専門選択科目やプレ卒業研究等を受講しながら工学的視点やマネジメント的視点も養えるよう日々取り組んでおります。

保護者のみなさまにおかれましては、授業参観に関します率直なご意見をいただき、本校の授業改善に寄与いただけますと幸いです。最後に、今後とも本校および担任との連携を密にし、苫小牧高専における教育・研究、学校・寮生活等のご理解ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



寮祭を終えて

4年1組 親睦委員長 新谷大輔

今年の寮祭は予算が去年に比べてだいぶ少なく、抽選会やスポーツ大会の景品を出来るだけ減らして間に合わせました。また、毎年寮祭で行うスポーツ大会の種目は大体ソフトボールでしたが、当日野球部が遠征で不在だったことによりソフトボールの審判をできる人がいなかったため、サッカーをすることにしました。正直、みんなが満足してくれるかは不安でしたがサッカー部と顧問の多賀先生の協力もあり無事に行えました。今回のスポーツ大会の反省点を挙げるとすれば、第一に試合時間が長くて後半になるとほとんどの人が疲労で足が止まっていたことです。また、コートが広すぎて試合展開が遅くなってしまいました。次に、寮祭のメインイベントである昼食会では4年2組の奥河君がスムーズに司会進行を務めてくれました。さらに副委員長の東方君も率先して準備してくれたのでとても助かりました。反省点としては、ジンギスカンに使う固形燃料が足りなくなって中村先生が急遽買いに行くはめになったことです。これは、去年の昼食会の余りを使っていて、その中に使い物にならないものがあったことが原因だと思うので、ちゃんと確認しておけばよかったです。このように、今年の寮祭は皆さんの協力のおかげで成功することができました。本当にありがとうございました。

寮祭



学生主事補 佐々木幸司

令和初の春季体育大会が6月18日に開催されました。

例年同様に優勝を目指してクラス毎に団結する姿が見られました。その結果駅伝や学科対抗リレー、球技ではフットサルやソフトボール、卓球などが盛り上がりを見せました。また、大きな怪我や小競り合いもなかったため各クラスの競技出場者は集中力を欠くことなく、白熱かつ冷静に競技に臨めていたと思います。

さらに昨年度の反省点である競技終了時間が非常に遅くなった、という点もトーナメント表の改善や体育委員の迅速な進行により改善され、ほぼ予定通りに運営がなされました。1月に予定されている冬季体育大会についても、よりスムーズな運営となるよう努力していきます。

最後に今大会を運営するにあたり協力していただいた体育委員の皆さん、審判の手伝いをしてくださった各クラブの部員、また担任の先生方も各クラスの応援に駆けつけていただき、本当にありがとうございました。今後の体育大会についてもご理解とご協力をよろしくお願いします。



春季体育大会

第55回北海道地区国立工業高等専門学校体育大会成績一覧

団体戦	種 目		苫小牧	函 館	釧 路	旭 川
	陸 上 競 技	男女	2位	1位	3位	4位
		男子	1位	4位	2位	3位
	バスケットボール	女子	2位	4位	3位	1位
		男子	2位	3位	1位	4位
	バ レ ー ボ ー ル	女子	3位	2位	1位	4位
		男子	4位	1位	2位	3位
	卓 球	男子	2位	1位	4位	3位
	柔 道	男子	—	—	1位	2位
		男子	2位	3位	—	1位
	剣 道	女子	—	—	—	1位
		男子	2位	3位	1位	4位
	バ ド ミ ン ト ン	女子	1位	2位	3位	4位
		男子	1位	4位	3位	2位
	ア ー チェ リ ー	男子	1位	4位	2位	3位
	テ ニ ス	男子	3位	2位	1位	4位
	サ ッ カ ー	男子	1位	4位	2位	3位
	ハ ン ド ボ ー ル	男子	2位	1位	—	—

個人戦	種 目			1位	2位	3位	
	ソ フ ト テ ニ ス	男子ダブルス		松岡（苫小牧）	佐藤（釧路）	越戸（函館）	
				堀井（苫小牧）	末田（釧路）	山下（函館）	
		女子シングルス		渡邊（苫小牧）	太田優（旭川）	－	
		女子ダブルス		渡邊（苫小牧）	太田優（旭川）	砂村（旭川）	
	卓 球			相原（苫小牧）	太田愛（旭川）	近藤（旭川）	
		男子シングルス		濱野谷（苫小牧）	濱名（函館）	角（函館）	
		女子シングルス		長江（釧路）	中辻（苫小牧）	小野（釧路）	
		男子ダブルス		安田（旭川）	塚本（苫小牧）	濱名（函館）	
				中辻（旭川）	高島（苫小牧）	山崎（函館）	
		女子ダブルス		長江（釧路）	中辻（苫小牧）	－	
				小野（釧路）	坪田（苫小牧）	－	
		柔 道	男子60kg級		竹田（苫小牧）	中村（釧路）	－
	男子73kg級		長谷川（旭川）	千葉（旭川）	－		
	男子90kg級		坂本（釧路）	荒木（旭川）	山下（苫小牧）		
	男子90kg超級		福躍（釧路）	－	－		
	剣 道	男子	トーナメント	小川（函館）	坂東（旭川）	田中（苫小牧）	
		女子	リーグ	北村（旭川）	扇原（旭川）	－	
	バ ド ミ ン ト ン	男子シングルス		堺（釧路）	伊藤（苫小牧）	堂高（苫小牧）	
		女子シングルス		石井（函館）	工藤（釧路）	伊藤（苫小牧）	
		男子ダブルス		伊藤（苫小牧）	堺（釧路）	松原（函館）	
				高田（苫小牧）	遠藤（釧路）	工藤（函館）	
		女子ダブルス		工藤（釧路）	熊谷（苫小牧）	コノリー（苫小牧）	
				村山（釧路）	伊藤（苫小牧）	中村（苫小牧）	
	テ ニ ス	男子シングルス		谷目（函館）	石垣（苫小牧）	高田（苫小牧）	
		女子シングルス		黒谷（函館）	野上（苫小牧）	上野（函館）	
		男子ダブルス		角谷（釧路）	石垣（苫小牧）	高田（苫小牧）	
				若園（釧路）	谷（苫小牧）	金子（苫小牧）	
		女子ダブルス		野上（苫小牧）	亀谷（函館）	浅野（苫小牧）	
				松山（苫小牧）	黒谷（函館）	工藤（苫小牧）	
	ア ー チェ リ ー	男子		佐藤（苫小牧）	大西（苫小牧）	伊藤（釧路）	
		女子		片岡（苫小牧）	丹羽（函館）	板谷（苫小牧）	
	陸 上	上	100m	男子	澁谷（釧路）	吉野（函館）	鈴木（旭川）
				女子	田端（苫小牧）	石田（苫小牧）	平野（釧路）
			200m		澁谷（釧路）	白井（旭川）	加藤（苫小牧）
			400m		加藤（釧路）	堀（函館）	藤崎（旭川）
			800m	男子	本間（苫小牧）	深川（函館）	若山（函館）
				女子	田端（苫小牧）	織本（苫小牧）	外崎（函館）
			1500m		吉井（苫小牧）	深川（函館）	稲邊（釧路）
			5000m		宇佐美（苫小牧）	竹田（苫小牧）	滝（苫小牧）
			110mH		吉野（函館）	五十川（苫小牧）	松井（函館）
			4×100mR		吉野/境/松井/吉川（函館）	鈴木/小林/白井/八幡（旭川）	田中/加藤/渡辺/岡部（苫小牧）
			4×400mR		吉井/野田/加藤/本間（苫小牧）	大柳/稲邊/澁谷/加藤（釧路）	堀/花巻/若山/吉川（函館）
			走高跳		川島（函館）	田中（苫小牧）	松本（函館）
		走幅跳	男子	吉川（函館）	川島（函館）	松井（函館）	
			女子	金子（釧路）	平野（釧路）	岩佐（苫小牧）	
		三段跳		吉川（函館）	白井（旭川）	田中（苫小牧）	
		砲丸投	男子	小野（函館）	井上（旭川）	岩藤（函館）	
			女子	小西（函館）	宇山（苫小牧）	織本（苫小牧）	
		円盤投		藤原（旭川）	岩藤（函館）	小野（函館）	
		やり投		松本（函館）	伊藤（函館）	野崎（函館）	

高専体育大会

第54回全国高等専門学校体育大会の結果について

第54回全国高等専門学校体育大会が8月17日（土）～9月1日（日）までの日程で中国地区の各競技会場において開催されました。

本校からは、陸上競技、バスケットボール、ソフトテニス、卓球、柔道、硬式野球、サッカー、テニス、バドミントン、水泳の10種目に68名の選手が出場しました。成績の詳細は次のとおりです。

なお、台風10号の影響により陸上競技については残念ながら出場することができませんでした。

■□ 第54回全国高等専門学校体育大会の成績 □■

◎陸上競技

台風10号の影響により、出場できず。

◎バスケットボール

（男子） 予選リーグ敗退

◎ソフトテニス

（男子）

個人戦ダブルス 松岡武人（4-2）／堀井翔太（2-4）

1回戦敗退

（女子）

個人戦ダブルス 渡邊美麗（4-2）／相原令佳（3-5）

1回戦敗退

◎卓球

（男子）

個人戦シングルス 濱野谷拓望（4-2）

予選リーグ敗退

◎柔道

（男子）個人戦

60kg級 竹田 聖（2-3）

1回戦敗退

◎硬式野球

1回戦敗退

◎サッカー

1回戦敗退

◎テニス

（女子）

個人戦ダブルス 野上あかね（M5）／松山奈未（4-3）

1回戦敗退

◎バドミントン

（男子）

個人戦ダブルス 高田隼世（A5）／伊藤篤史（K5）

1回戦敗退

（女子）

団体戦 1回戦敗退

◎水泳

（男子）

100m自由形

小野 静也（3-1） 予選敗退

100m平泳ぎ

岸本 悠希（J5） 予選敗退

100mバタフライ

大原 拓（2-2） 予選敗退

200m自由形

飯尾 朋弘（1-5） 予選敗退

200m個人メドレー

井筒 歩夢（2-3） 予選敗退

400mメドレーリレー

井筒 歩夢（2-3） 予選敗退

岸本 悠希（J5）

大原 拓（2-2）

小野 静也（3-1）



OPEN CAMPUS 2019

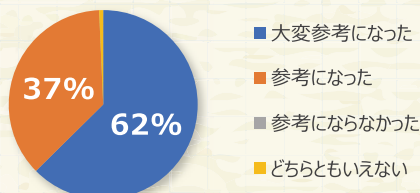
オープンキャンパス実施報告

苫小牧高専では、本校の教育活動についてご理解いただくためのイベントの一つとして、毎年、オープンキャンパスを開催しています。今年度のオープンキャンパスは、8月31日（土）と9月1日（日）の2日間で実施いたしました。初日はあいにく天候が悪く、時間帯によっては豪雨に見舞われることもありましたが、2日目は天候に恵まれ、多くの中学生と保護者を含むご家族、ならびに中学校関係者の皆様にご参加いただきました。今年度の来場者数の状況ですが、2日間とも午前中にご来校いただいた方が大勢を占め、天候に恵まれなかった初日の方が2日目よりも来場者数が多い状況となり、2日間で総勢1286名の方にご参加いただきました。本校に関心をもち、市内・市外から本校までお越しいただきました皆様、誠にありがとうございました。

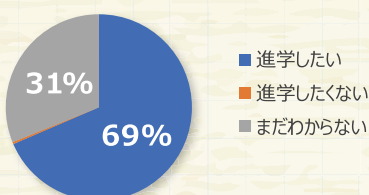
オープンキャンパスでは、学校概要説明、施設見学ツアー、学生寮見学、入試問題解説を実施しました。また、5つの専門系では、体験コーナー・実験コーナー・展示コーナーを通じて、各専門系の教育内容に対する理解を深めていただく機会を提供できたのかと思います。今年度はじめての試みとして、学生寮見学と施設見学ツアーを昼の時間帯に集中させて実施し、その間、専門系のコーナーは昼休みにしました。これにより、全体として例年より時間的にメリハリのついたスケジュールになったのかと思います。また、学生寮の食堂の混雑を避けるため、メニューを一品に絞り、普通の食堂で提供されているものと同じものを同じ価格で提供することを試みました。これらの変更をしましたが、特に目立った混乱はなく、実施することができたように思います。また、本校の入学者のアンケートからSNSの影響が増えてきているという結果を踏まえ、今年度から本校のLINEの公式アカウントが入試・広報活動に利用され始めました。その一環として、オープンキャンパスではLINEでクーポンを発行し、受付でクーポンと引き換えにプレゼントを提供させていただきました。オープンキャンパスの2日間でLINE登録者数が約100名増加する結果となりました。

教務主事補 高橋 芳太

Q. オープンキャンパスは苫小牧高専を知る上で参考になりましたか？



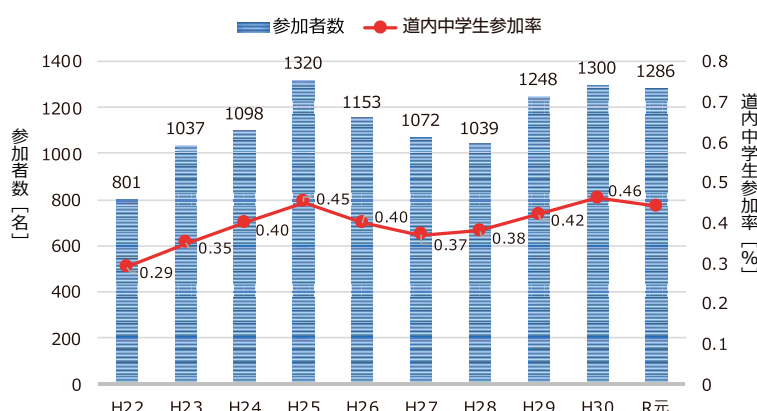
Q. 苫小牧高専に進学したい（させたい）と思いますか？



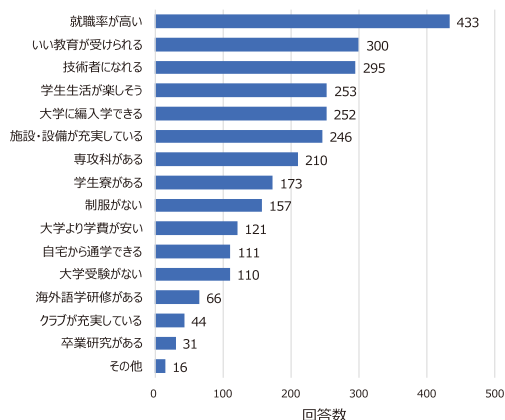
した。

今回のオープンキャンパスにご参加いただいた方へのアンケート結果では、「苫小牧高専を知る上で大変参考になった・参考になった」という回答が約99%となり、オープンキャンパスの目的を果たすことができたように思います。また、「苫小牧高専に進学したい（させたい）と思いますか？」との質問には、約7割の方から「進学したい」との回答をいただき、残りの3割の方が「まだわからない」と回答されています。全ての方に進学したいと考えていただけるような魅力的な学校づくりに励みたいと思います。アンケートのコメントとして、学生・教職員の皆様の対応への好意的なご意見を数多くいただいております。皆さまのおかげで無事にオープンキャンパスを終えることができました。心より感謝申し上げます。

オープンキャンパス参加者数・道内中学生参加率



Q. 進学したい理由をすべて選んでください（複数回答可）



アンケートでいただいたご意見の一部を紹介いたします。

- すてきな学生さんたちが詳しく色々なことを教えてくださいました。私もこんなふうになれたらなと思いました。
- 楽しそうな学校でとても進学したいと思いました。
- 説明して下さった学生の皆さん、4.5年生ということもあるのでしょうか、顔つきがしっかりしていて好感がもてました。
- 札幌から通学できると聞いていなかったの驚いた。通わせたいと思いました。
- 設備がすごくてビックリしましたが、その設備を使っている学習をできるのが魅力的でした。各学科の生徒さん、先生、とても親切で気持ちよかったです!!

機械系

体験コーナー「3次元CADでシミュレーションをしてみよう」
実験コーナー「金属の引張破壊」「電子顕微鏡によるミクロ観察」
実験コーナー「金属の引張破壊」「電子顕微鏡によるミクロ観察」など
実験コーナー「プラズマの簡単な実験」「レーザー加工機」「水の流れを知る」など



参加者アンケートより
 「金属の棒をひっぱってちぎれたのが面白かった」

都市・環境系

体験コーナー「橋の力学体験」

実験コーナー「波力実験、水理実験公開」「土質実験公開」「交通シミュレーション」など



参加者アンケートより 「波の実験をしてくれた学生さんの説明がとても楽しくて分かりやすかったです」

応用化学・生物系

体験コーナー「ホウレン草とニンジン色素のシリカゲル薄層クロマトグラフィー」
実験コーナー「炎色反応・高分子材料の演示実験」「顕微鏡観察」
実験コーナー「バクテリアセルロース・液晶の実験」など



参加者アンケートより 「ホウレン草の実験ができておもしろかった。ぼくは科学や生物、実験のような理科が好きだからこの学校にっているかも」「生物系があり、入りたくなった」

電気電子系

体験コーナー「電子工作教室～磁石と乾電池でモーターを作ってみよう～」

実験コーナー「各種ロボットデモ」「リニアモーターカー試乗」「落雷実験」「バーチャルヘッドホン」「無線によるロボット操縦」など



参加者アンケートより
 「ロボットが楽しかったです」

情報科学・工学系

体験コーナー「マイクラフトによるプログラミング」
体験コーナー「マイクラフトによるプログラミング」など
実験コーナー「ロボット模擬展示（組み込みロボットを動かそう）」など



参加者アンケートより
 「プログラミングの良さがわかりとても楽しかった」
 「マイクラフトの体験、楽しかったです！」

学校概要説明会

参加者アンケートより
 「国際化教育の話がすごく興味を持ちました」



食堂

参加者アンケートより
 「カレーがおいしかった」



クラブ活動報告

アーチェリー部

アーチェリー部は週に4日、学校のアーチェリー場で活動しています。1年生から5年生まで、色々な人が所属しています。活動は任意参加で、それぞれ来られるときに来て練習している、自由な雰囲気の部活です。そのため、ほかの部活と兼部している人もいます。

年に複数回開催される、苫小牧アーチェリー協会の"月例会"や、年に1度開催される"高専大会"に向けて練習しています。月例会は、大会運営を含め部員も協力して参加しています。地域の方々との交流や、大会というプレッシャーでどう力を発揮するかなどそれぞれの目的で参加しています。高専大会は北海道の他の高専と競い合うことができるため、大きいイベントとなっています。男子8人、女子2人にマネージャーを加えた11人で参加しています。会場は、各高専が4年に一回ずつ運営し開催されます。苫小牧高専は北海道大会を7連覇しています。大会後にはラメ

ンを食べに行ったり、お菓子パーティーなどをしてみんなで楽しんでいます。

部員全員が高専入学後にアーチェリーを始めていますが、大会に出場できる実力をつけています。打ち方などを指導してくれるコーチはおらず、それぞれが教え合い練習しています。初めは、安全や打ち方の基礎を学びます。細かな部分的に大きな影響を与えるため、多くのことに気を付けないといけないですが、一つひとつ気を付けることができるようになってしっかりと当たるようになるので、とても面白いです。

1年生も10月になると初めての"新人戦"に出られるようになります。初めての大会なので、みんなとても緊張して大会に挑みます。2年生以上は、自分の記録をどう上げていくかということがメインになります。



4年3組

大西 漢



バレーボール部

バレーボール部は男子28名、女子8名の合計36名で活動しています。平日は2~3回の体育館練習に加え、男子は週に1回、体力づくりのためのランニングやジャンプ力アップのための階段トレーニング・筋トレなどを行っています。休日は土日のどちらかで体育館練習をしたり、他の高校との練習試合をしています。

普段は1~3年生までの高校生チームを中心に練習をして、4・5年生は後輩たちの練習のサポートをしています。大会に出場することができるのは3年生までですが、1~5年生まで全員が一緒に練習に励み、全道大会出場に向けて日々頑張っています。また、6月頃は高専大会に向け、高専チームとして練習をしたりもします。

部員は小学や中学でのバレー経験者と未経験者が半分ずつくらいです。経験者でなくても、積み重ねた努力次第でレギュラーになることもでき、日々練習に取り組んでいたら急にバレーが上手になることも

多く、今年の男子高専チームにはそうやってレギュラーになった未経験者の部員が3名います。また、高専での生活をアドバイスしてくれる人や優しい人、面白い人も多いのでバレーボールだけでなく、学校生活の面でもいいことがたくさんで楽しく部活ができています。

テレビやYouTubeでバレーボールを見て興味が沸いたなど、きっかけは何でもいいので、ぜひ一緒にバレーボールをしましょう!やるのはちょっと…って方はぜひ大会に足を運んでみてください!これからもバレー部の応援をよろしくお願いします!



機械工学科 5年

佐藤 元



写真同好会

写真同好会会長の武藤遥来です。写真同好会は今年できたばかりの同好会です。日々、写真甲子園に向けて撮影技術に磨きをかけています。写真甲子園とは、写真の高体連（高文連）のような大会で、風景写真からポートレートまで様々なジャンルの写真を撮り、競いあいます。

主な活動として、校内での写真撮影や高専祭などの高専でのイベントの記録撮影などを行っています。これまでに行った活動は、高専体育大会の記録撮影や高専近辺の海での撮影を行いました。体育大会の撮影は初めての記録撮影ということもあり内容が偏った写真が多くなってしまったため、次は偏りなく撮影できるように打ち合わせをしっかりと行っていく予定です。

また、高専近辺の海での撮影では、打ち寄せる波を撮る人もいれば、波打ち際で遊んでいる姿を撮影している人もいて、私自身が想像してない撮影方法を見ることができてとても良い経験になりました。



他にも、今年は9月6日（金）に札幌の円山動物園で撮影会を行いました。今年の夏は、長雨で外での撮影ができませんでしたので、とても楽しい撮影会にすることができました。動物をマルチアングルで撮影したり、部員同士で写真を共有したり、撮影方法のアドバイスなど、普段なかなかできないことができたのでとても有意義な時間になりました。

これからの活動として、苫小牧市民文化祭や高専祭へ出展していく予定です。また、写真の撮影技術の向上のほかにも写真の現像作業の練習や、高度な撮影の練習をし、写真甲子園に向けて日々精進していきたいと思います。また、将来的には苫小牧高専のポスターやパンフレットを学生で制作しオープンキャンパス高専祭などで配布を行うなどの活動を通し、苫小牧高専が広く認知されるような活動をしていきたいです。



2年1組

武藤遥来



鉄道研究同好会

鉄道研究同好会は鉄道の魅力を校内に発信することを目的に毎週月・水曜日に鵬翔会館2階の部室で活動しています。部員数は少なめの11人です。普段の活動では春に行う新入生歓迎会と秋に行われる苫小牧高専最大のイベントである高専祭での展示に向けてポスター、会誌、実在する風景をモチーフにした鉄道模型の製作などを行っています。

新入生歓迎会は新入部員を歓迎して、鉄道に関わるスポットを部員みんなで見に行こうという企画です。去年までは空知地方の新十津川駅や小樽市の手宮線跡地や総合博物館に行き、今年は札幌市内の北海道鉄道技術館を見に行きました。

鉄道模型の製作には3DCADと電気回路、BVE(鉄道運転シミュレータ)にはプログラミングなどの専門的な知識が必要になり、作業が止まってしまう時があります。そんなときは専門の系に配属されている2年生から5年生が専門の系で学んだ知識を生かして互いに助け合いながら作業を進めています。

毎年、高専祭ではポスターや模型などの展示と会誌の配布だけでなく、模型とBVEの運転体験も行っています。昨年の高専

祭ではこれが子供に大人気で部員が少なくてもかなり苦労しましたが、子供から大人まで多くのお客さんに楽しんでもらえたので部員にとっていい思い出にすることができました。

私はこの同好会での活動を通して、いろんな学生や先生と交流することができ、入部したことを心から良かったと思っています。1年生から5年生まで全員の仲が良く、とても楽しい雰囲気同好会です。少しでも興味のある人、あまり知識の無い人、途中からの入部も大歓迎です。ぜひ見学に来てみてください。



4年4組

橋本剛徳



Club Activities

『災害対応教育システム』の紹介

総合自然科学系教授 中野 渉

研究室紹介



校門を入ると、校舎左手屋上にヒマワリのように太陽の方向を向き続ける9枚のソーラーパネルが見えてきます。これは2014年に設置された共同利用『災害対応教育システム』の一部です。このシステムは「実証実験」が特徴。追尾式を含めて構内に計110枚のパネルが設置されていますが、その発電電力は実際に校内の電気系統に接続され、電力工学実験室で計測データを収集しながら、同時に、年間60万円ほどの節約に貢献しています。校門横の校名看板の夜間照明にも使われ、通学路の安全確保にも一役買っています。1階中講義室前のタッチパネルでは計測データの一部をご覧になれます。また、「大型ディーゼル発電機」をボイラー室横に設置しています。これは本来、本校の消費電力の半分以上をカバーできる発電能力があります。将来、配線等を拡張すれば、体育館・校舎の避難所機能を支えることも可能ですが、厳冬期の生命線である暖房・給水の利用にとりあえず限定しています。発電機内部の見学もできます。東日本大震災から8年。このシステムが教職員・学生が防災意識を忘れないためのアイコンになればと願っています。



高専協力会だより 苫小牧高専協力会の活動について

1 専攻科研究・研究シーズ発表会の開催

苫小牧高専地域連携シンポジウム2018

日時:2018年11月30日(金)

場所:グランドホテルニュー王子 3階「グランドホール」

・パネルディスカッション

テーマ:「地域活性化と苫小牧高専が果たす役割」

パネリスト:石 森 亮 氏(苫小牧港開発(株)代表取締役社長)

東 乙比古 氏((一社)北海道化学事業創造センター代表理事)

古 川 真 衣 氏(㈱ダイナックス生産技術本部技術開発部設備設計チーム)

大 橋 智 志 氏(苫小牧高専 創造工学科 准教授)

松 尾 優 子 氏(苫小牧高専 創造工学科 准教授)

和泉光史朗 氏(苫小牧高専 電子・生産システム工学専攻2年)

田 村 侑 也 氏(苫小牧高専 環境システム工学専攻2年)

コーディネーター:菊 田 和 重 氏(苫小牧高専 地域共同研究センター長)

・研究発表～協力会助成事業に係る報告『AIによる地域活性化』

報告者:苫小牧高専 創造工学科 助教 原田恵雨 氏

・専攻科研究発表

発表者:専攻科1年生26名、ポスターセッション形式

・交流会



2 定期総会の開催

日時:2018年6月20日(水)

場所:グランドホテルニュー王子 3階「グランドホール」

・記念講演

1) テーマ:「松本鐵工所の新たな取組について」

講 師:松本英久 氏(㈱松本鐵工所 代表取締役社長)

2) テーマ:「国立高等専門学校機構情報セキュリティ人材育成事業(K-SEC)と苫小牧高専の取組について」

講 師:土居茂雄 氏(苫小牧高専 創造工学科 准教授)

3) テーマ:「北海道内におけるサイバーセキュリティの現状について」

講 師:大石智範 氏(北海道警察サイバーセキュリティ対策本部対策係長 警部補)

3 第7回会員企業合同研究会の開催

4 学校・学生との交流・共同事業

・2018年度専攻科1学年授業科目「共同教育」

・苫小牧高専「創造工学I」における「身近な職業人インタビュー」

・苫小牧高専「創造工学I・III」における座談会「ジョブトーク」

・地域共同研究センター並びにキャリア教育センターとの連携

・苫小牧高専公開講座への協力



5 関連事業への協力

・苫小牧高専主催「科学のとびらー苫小牧高専実験教室ー」への後援

・サイバーセキュリティ実態調査への協力

・苫小牧高専サテライト「C-base」開設記念講演会への後援・参加

・苫小牧高専・苫小牧市・苫小牧商工会議所連携協定締結記念シンポジウム「地域で取組む課題解決型共同教育」への後援・参加

6 道内4高専卒業生向け「I・Uターンマッチングシステム」への参画

7 地域共同研究センターにおける研究費助成及び学術情報センターにおける図書寄贈

苦小牧高専校長への意見箱

1. 目的

本校における学校運営等に関する課題・問題点を早期に把握し、その改善に資することを目的として、『苦小牧高専校長への意見箱』を開設しております。皆様からの率直なご意見、ご要望、ご指摘をお待ちしております。

2. 注意事項等

- ・内容については、できるだけ具体的にご記入ください。
- ・個別に回答や返信をお約束するものではありません。また、匿名での意見には回答いたしかねますので、ご了承ください。
- ・必要に応じて、意見等の概要及び本校からの回答を本校Webサイトに掲載いたします。
- ・意見に次のような内容が含まれるものは、回答できません。
 - 1) 他の者又は団体の権利もしくは利益を侵害し、もしくは侵害するおそれのあるもの。
 - 2) 法令等に違反し、又は違反するおそれがあるもの。
 - 3) 教職員・学生のプライバシーに関するもの。
 - 4) その他内容が意見箱の設置趣旨に反しているもの。
- ・意見等を投稿したことを理由に、投稿者に対し不利益な取り扱いはいたしません。（ただし、虚偽、誹謗中傷など不適切な内容の場合は除きます。）
- ・取得した個人情報は、上記目的以外には使用いたしません。



人 事 異 動

○令和元年5月18日付

事務職員・技術職員

【併任解除】

総務施設管理係長 伊 藤 光 春 （総務課課長補佐（財務担当））

○令和元年6月1日付

事務職員・技術職員

【採用】

事務補佐員（菊田教授研究室） 高 橋 薫
技術補佐員（菊田教授研究室） 野 中 響 己

○令和元年7月1日付

事務職員・技術職員

【併任解除】

総務課企画調査係長 佐 藤 忠 淳 （総務課課長補佐（総務担当））

【配置換】

総務課総務係長 後 藤 悠 介 （学生課教務係長）
総務課企画調査係長 鈴 木 良 （総務課財務係長）
総務課財務係長 本 間 暁 （旭川工業高等専門学校学生課学生係長）
学生課教務係長 村 田 雅 彦 （学生課学生係長）
学生課学生係長 森 博 和 （総務課総務係長）

○令和元年7月31日付

事務職員・技術職員

【雇用期間の満了】

技術補佐員（菊田教授研究室） 野 中 響 己
技術補佐員（村本教授研究室） 清野沙奈恵
技術補佐員（高橋准教授研究室） 山 口 麻 美

○令和元年8月10日付

事務職員・技術職員

【辞職】

学生課寮務係事務補佐員（寮母） 宮 澤 享 子

○令和元年8月31日付

事務職員・技術職員

【雇用期間の満了】

事務補佐員（菊田教授研究室） 高 橋 薫

○令和元年9月1日付

事務職員・技術職員

【育児休業】（令和元年9月1日～令和元年11月30日まで）

総務課総務係長 後 藤 悠 介

【併任】

総務課総務係長 佐 藤 忠 淳 （総務課課長補佐（総務担当））

○令和元年9月30日付

事務職員・技術職員

【辞職】

総務課人事係主任 築 田 星 子

○令和元年10月1日付

教育職員

【昇任】

創造工学科教授（都市・環境系担当） 中 村 努
創造工学科教授（情報科学・工学系担当） 三 上 剛
創造工学科教授（総合自然科学担当） 高 橋 芳 太
創造工学科教授（総合自然科学担当） 長 澤 智 明
創造工学科准教授（情報科学・工学系担当） 中 村 嘉 彦
創造工学科准教授（総合自然科学担当） 多 賀 健

事務職員・技術職員

【採用】

総務課総務係 窪 田 梨 七 （新規採用）
技術教育支援センター 大 橋 哲 （新規採用）
学生課寮務係事務補佐員（寮母） 伊 藤 杏 里 （新規採用）

高専通信

vol.152 contents

1 2	学校長挨拶	9 10	オープンキャンパス2019
3	第1学年オリエンテーション	11 12	クラブ活動報告
4	第2学年オリエンテーション	13	研究室紹介 高専協力会だより
5	授業参観	14	苫小牧高専校長への意見箱 人事異動
7 8	高専体育大会		

編集後記

令和元年度前半の本校の動きを伝える高専通信をお届けします。

4月には、創造工学科の4期生を迎え入れました。同時に、創造工学科は第4学年まで学年進行し、第4学年の学生達は、創造工学科の各専門系で新規にスタートする、より専門的な講義や実習・実験に励んでおります。第2学年では、昨年同様、系配属後のオリエンテーションが行われております。また、4年次後期からスタートする、各系のプレ卒業研究やフロンティアコースの準備も進められております。

国際交流に関しては、ニュージーランドEITでの研修、タイ・カセサート大学および香港THEiからのインターンシップ学生受入（タイから4名、香港から2名、2ヶ月間）、モンゴル高専教員の研修受入、「日本・アジア青少年サイエンス交流事業 さくらサイエンスプラン」によるモンゴル3高専からの学生受入等が行われております。

来年2月末から3月にかけては、タイ・カセサート大学へのインターンシップ学生派遣も予定されています。

なお、香港THEiへの学生派遣については、現地の情勢が不安定のため、この夏の実施は見送りとなりました。

最後になりますが、本校の学校長であられた黒川一哉先生が、一身上のご都合により、8月末で退任されました。黒川先生は、5年半の間、学校長として本校の運営・発展等に尽力されました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

総務主事補 稲川 清

[高専通信に関するお問い合わせ先]

苫小牧工業高等専門学校 総務課総務係 ☎059-1275 苫小牧市字錦岡443

TEL.0144-67-0213 [MAIL] pub_info@tomakomai-ct.ac.jp

